

Cente Technical Information

発行番号	103-0018	Rev	第1版	発行日	2015/07/30
題名	追記モードで開いたファイルに正しく追記できない不具合について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente exFAT FileSystem Ver1.00～Ver2.01				
影響API	fputc, fputs, fwrite, fseek				
関連資料	なし				

【現象】

以下の条件でファイルを開き追記した場合、正しい位置に書込めません。
又、現在のファイルサイズ以上書き込んだ場合は、アロケーションビットマップもしくはFATとディレクトリエントリの不整合が発生します。

【発生条件】(本不具合は以下の条件がそろった時に発生します)

- (1) "a"もしくは"a+"モードでファイルを開いた時。
新規に開いた場合の初回の書き込みは正常に書き込めます。
- (2) fseekで読み書き位置を終端以外に移動した時。
- (3) fputc, fputs, fwriteにて書き込みした時。

【原因】

追記モードで開いたファイルに書込みを行う場合、自動で終端へ移動する仕様になっています。この移動には以下2つの情報を必要とします。

(1)最終クラスタ番号 (2)NOFATCHAINフラグ

fputc, fputs, fwriteではこの情報の扱いに誤りがあった為、正しい読み書き位置へ移動出来ていませんでした。

【回避方法】

■運用での回避方法

追記モードの自動終端移動では無く、アプリケーションでfseekにてファイルの終端に移動後、fputc, fputs, fwriteを実行して下さい。

■プログラム修正による回避方法

修正方法につきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。

以上